

24 窓ガラス廻り目地の補修（シーリング打増し補修工法）

外壁コンクリートの打ち込みサッシ廻り及びガラス回り目地の補修

施工手順

施工方法

補修範囲・材料の確認	<ul style="list-style-type: none"> 目視により劣化範囲を確認し、補修範囲を確定する。 シーリング材の選定は、使用場所及び目地の材質に適合した材料を選定する。（耐候性材料の選定）
既設目地切取り	<ul style="list-style-type: none"> 既設の目地劣化材部分をカッターナイフで切取り部分撤去する。
目地周辺の清掃	<ul style="list-style-type: none"> ケレン後、ダスター刷毛で粉塵を除去後、溶剤拭きにより油分を除去する。 目地底が湿潤状態の場合は、十分に乾燥してから施工する。
マスキングの貼付け	<ul style="list-style-type: none"> テープ貼り位置は、シーリング材の被着面へ食込まない様に貼る。
目地枠貼付け	<ul style="list-style-type: none"> バックアップ材で新設シーリング材の打設幅及び厚さを確保する目地枠をバックアップ材を貼付け作成する。 ※（目地の接着幅及び厚さは9mm以上とする。）
プライマー塗布	<ul style="list-style-type: none"> シーリングプライマーは、刷毛で均一に塗布し、塗り残しがない様にし、吸込みの多い場合は、2度塗りを行う。 プライマー塗布後、当日施工出来ない場合や、雨濡れした場合は、再塗布する。 プライマー材：ボンドシーリングプライマーSR、 ※プライマーの選定は被着材種や既設残留シーリング材との適合性を考慮する。
シーリング材の混合	<ul style="list-style-type: none"> 専用混合機により、基材・硬化剤・カラーマスターが均一になるまで15分以上混合する。 混合不良を防止する為、容器の壁、底部の材料をヘラで掻き落とした後に再度、混練する。 シーリング材：ボンドエクシールIB、シリコンコーク
シーリング材の充填	<ul style="list-style-type: none"> 混合したシーリング材をコーキングガンに詰めた後、目地底から気泡が入らない様に充填する。 混合したシーリング材は、可使用時間内に使用する。
ヘラ仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> シーリング材表面が指触乾燥前に、目地幅に合ったヘラで表面を平滑に仕上げる。
養生	
マスキングテープの除去	<ul style="list-style-type: none"> シーリング材の硬化後、型枠材及びマスキングテープを除去する。
目地廻りの清掃	<ul style="list-style-type: none"> マスキングテープよりはみ出した箇所は、周囲を汚染しない様に除去する。
完了	

